

気になる学部・専攻・学科の授業をチェックしてみよう！ ■発達教育学部 ■理学療法学専攻 ■作業療法学専攻 ■こども未来学科

■ 専門ゼミナール I (スポーツ科学)



発達教育学部 准教授
遠藤 隆志

本研究室では、ヒトのさまざまな運動の際の神経系のメカニズムを明らかにすることをテーマとしており、専門ゼミナール I の授業では、このテーマについて学んだり、調べたり、実験したり、発表することによって研究の基礎を身につけていきます。今回の授業では、本研究室で行われている研究の紹介とともに、ヒトの運動制御のメカニズムについての講義や簡単な実験、ディスカッションをして、みなさんと一緒に学んでいきたいと思っております。

■ 小学生にタイムスリップ～算数の授業を受けよう～



発達教育学部 教授
小坂 裕皇

小学校の算数の授業はどのように行われましたか？担任の先生から計算の仕方や図形の書き方を教わって計算したり、作図したりする授業でしたか？それとも自分で解決策を考えましたか？今日は「図形を半分にしてみよう」という特別なテーマで学んでみたいと思います。半分にした図形にはどのような決まりがあるのでしょうか。やってみてのお楽しみ！



■ 幼児教育って何だろう？



発達教育学部 教授
入澤 里子

- ・日本の幼児教育の概要(幼稚園・こども園・保育所の違い)
- ・子どもたちは遊んでいるだけでなく、遊びを通して学んでいるのだということ
- ・保育者の役割
- ・幼児期には非認知能力を育てることが大事
- ・5領域で育てていること

■ ストレッチの科学



保健医療学部 助教
千葉 諭

体育や部活動で準備体操として行われることの多いストレッチですが、「ただ伸ばすだけ」と思っていないでしょうか？一言にストレッチと言っても目的によって行うべきタイミングがあり、科学に基づいた方法があります。この講義でストレッチについて学び、実際に身体の硬さを評価し、いろいろなストレッチを通して改善していきましょう。服装は上半身は自由なもので結構ですが、下半身はジャージやハーフパンツを着用してください。デニムや制服などの伸びにくい素材のものは避けてください。※スカートでは参加できません。

■ ロボットリハビリテーション



保健医療学部 教授
池田 恭敏

少子高齢化によって、リハビリや介護の人材不足は深刻な状況です。その打開策の一つとして、リハビリや介護にロボットを積極的に活用して、サービスの効率化と現場の負担軽減をはかる方策が推進されています。保健医療学部では、先端的リハビリテーションの学びの一環として、ロボットテクノロジーを活用したりリハビリテーションの授業をしています。今回はその授業の一端を紹介します。



■ 子どもの遊びを体験してみよう



こども未来学科 准教授
久留島 太郎

子どもたちは遊ぶことを通して育ちます。幼稚園や保育所などで子どもたちがよく遊んでいる「遊び」を体験することを通して、遊ぶことが子どもたちの何を育てるのかを一緒に考えてみましょう！



昼休み

12:30~13:20



昼食は L棟1F Ku-Su Ku-Su で食べよう♪高校生のみなさんも大学生と同じ割引料金で利用できます！
おいしくて評判です！ぜひご予約を

■ 油淋鶏定食 380円



■ かけうどん・そば 260円

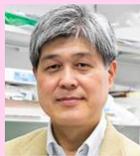
■ 月見うどん・そば 320円



3限

13:20~14:50

■ 英語力の養成法



発達教育学部 教授
長谷川 修治

2020年度より、小学校では5・6年生対象に「英語」が教科化されました。また、3・4年生には「外国語活動」が新しく導入されています。このような英語教育の早期化・教科化に対して、教育現場では対応が迫られています。そこで、本講座ではこのような問題に取り組み方策を考えるため、我が国の英語教育に対して、まずは一般人が抱く素朴な疑問と専門家の意見、グローバルな視点から見た英語と日本語との関係、および我が国の英語教育の現実を確認します。そして、英語力を養成するうえで何が必要とされるかを学術的な視点から追求します。講座の最後には、小学生の英語力向上を目的に本学で開発したICT教材の学習も体験してもらいます。

■ 一人ひとりに寄り添う特別支援教育



発達教育学部 教授
佐川 桂子

特別支援教育とはどのようなものなのでしょうか。子どもの特別な教育的ニーズをどのようにとらえて、どのように対応していけばよいのかについて考えてみましょう。

持ち物:筆記用具



■ 日常生活活動学



保健医療学部 准教授
角 正美

理学療法士の治療プログラムの一つである「基本動作練習」。これは、手術をした人や病気になる人がベッドから起き上がり、立ち上がり、歩いたり、階段をのぼったりする練習のことです。患者さんの動きを邪魔せず、患者さんの身体能力を最大限引き出すための介助法と一緒に勉強しましょう。一生もの知識と技術が学べます！実技練習を行うので、動きやすい服装で参加してください。※スカートでは参加できません。

■ 音楽を用いた作業療法



保健医療学部 教授
山崎 郁子

作業療法は、心身の援助を必要としている方々に対して、人間の行う生活行為のすべての活動から、ニーズに応じて作業を選び、提供していく仕事です。園芸、陶芸、手工芸などの手仕事に始まり、音楽、絵画、ダンスなど、心への働きかけも大切な仕事です。今回は、その中から音楽を用いた作業療法について、実践を交えてご紹介し、その活動の意味を説明したいと思います。

■ 絵本大好き！



発達教育学部 教授
栗原 ひとみ

みなさんは絵本に関心がありますか？赤ちゃんに絵本はまだ早いと思いませんか？そんなことはないのです。赤ちゃんは絵本と関わることで新しい世界を切り拓いています。保育において、絵本は大事な教材であり、児童文化です。実際に絵本と一緒に体験しながら、新たな絵本の世界を学んでみましょう。

*本学では令和4年度から認定絵本士の講座が開設されます。保育士と幼稚園教諭に加えて、さらに「認定絵本士」資格の取得をめざしませんか？

■ 保育って楽しい！パネルシアター入門



こども未来学科 講師
長嶺 章子

子どもたちがおはなしや音楽の世界を楽しむ方法の一つに「パネルシアター」があります。いろいろなアイデアについて知り、みなさんも体験してみましょう。①パネルシアターってなに？おはなしや音楽を「パネルシアター」で楽しみます。②やってみよう！パネルシアターに触れてみましょう。③作ってみよう！「Pペーパー」にキャラクターを描いて作ってみましょう。歌や音楽は苦手…人前で演じるなんて…と思っている人でも大丈夫！楽しんで学べる入門編です。短大の学生もお手伝いします！楽しみに会いに来てくださいね！※音楽室では靴を脱ぎます。足が冷えないようスリッパや厚手の靴下があるとよいと思います。(上履きは着用できません)

